

大雨時の避難

避難の心得

日頃から避難に必要なものを整理し、避難時の行動や注意することについて話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。



排水は控えて

大雨の時に大量の水を排水すると浸水の危険性が高まります。



浸水時は足元に注意

道路が冠水しているとマンホールや側溝のふたが外れていても気づきにくいので、どうしても外に出る場合は、足元に注意しましょう。



浸水時に長靴は厳禁

長靴は水が入ると歩けなくなります。浸水の深さが大きい場合は、動きやすい服装で避難しましょう。



大雨時の川は危険

避難時は、川や橋に絶対に近づかないでください。一人で外に出ることも控えましょう。



高い場所への避難

内水氾濫が発生したら、建物の2階以上など安全な場所へ一時的に避難しましょう。河川の堤防の決壊などによる洪水(外水氾濫)のおそれがある場合も同様です。



アンダーパスに近づかないで

アンダーパスは立体交差等で道路が地下にもぐる場所です。周囲の水が集まり、冠水しやすいため危険です。自動車は立ち往生してしまいますので、絶対に近づかないでください。



水の流れに注意

水深が浅くても、水の流が速いと、歩行が困難になります。お年寄りや子ども、身体の不自由な人が避難する場合には、特に注意が必要です。



地下空間の危険性

地下空間や地下駐車場では外の様子が分かりません。地下に水が流れ込んでくると、水圧でドアが開かなくなります。雨が降り始めたら上階へ避難しましょう。

地域での協力や助け合いなど

避難のときは、自分と家族が無事であることに加え、地域住民が協力して、要配慮者の避難の手助けを行うことも重要です。要配慮者利用施設の場所を確認できる地図は、市ホームページに掲載しています。 https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_006003.html



要配慮者への手助け



高齢者・幼児・傷病者・外国人には…

高齢者や幼児は、手をつなぐ、背負うなどしてしっかり援護します。傷病者には複数の人で対応しましょう。外国人で言葉が通じない場合には、身振り手振りを交えて誘導します。



身体の不自由な人には…

車椅子の方は、3人以上で協力し、階段を上るときには前向きに、下りるときは後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。



目の不自由な人には…

「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけましょう。はっきり、ゆっくり、大きな声で話しましょう。誘導するときは、杖を持っていない方のひじあたりを軽く触れるか、腕をかけてゆっくり歩きましょう。



耳の不自由な人には…

近くまで寄って、口を大きくはっきり動かして話しましょう。わからなければ、筆談しましょう。紙やペンがなければ、相手の手の平に字を書いて伝えましょう。

防災訓練・市政出前講座への参加

浸水ひなん地図は、防災訓練等で実際に活用し、理解を深めることで、災害時に落ち着いて適切な行動をとることができます。

静岡市では、12月第一日曜日を「地域防災の日」と定め、自主防災組織を中心に防災訓練を行なっています。お住まいの地区の訓練予定を確認し、家族で防災訓練に参加しましょう。

また、浸水ひなん地図の活用方法について、市の職員が地域に出向き説明する市政出前講座を実施しています。防災学習にぜひご利用ください。



過去に開催した市政出前講座

〈防災訓練に関するお問い合わせ〉

静岡市 危機管理総室
TEL : 054-221-1241

〈市政出前講座に関するお問い合わせ〉

静岡市 下水道計画課
TEL : 054-270-9215